

町田市が市内外から関心と憧れを高め、選ばれるまちとなるための2018年度年間総合予算の概要

固財政課 ☎724・2149

予算は、市民の皆さんに納めていただいた税金などの収入を生かして、町田市がどのような事業を行っていくかを表すものです。市内、市外を問わず多くの方々から「住みたい」「住み続けたい」と思っていただけるような選ばれるまちを目指し、2018年度にどのような事業やサービスを行うかをお知らせします。

※金額については、四捨五入による端数処理を行っているため、合計額と合致しない場合があります。

2018年度予算は2月に市長選挙が行われたことから、当初予算は経常的な事業を中心に編成し、6月補正予算では市長の4期目の政策的事業に係る予算を中心に編成しました。当初予算と6月補正予算を合わせた総額が2018年度の年間総合予算となります。



2018年度予算は、町田市基本計画である「まちだ未来づくりプラン」に定めた5つの「未来づくりプロジェクト」を着実に推進するとともに、4つの「まちづくり基本目標」の実現を目指す施策を中心に編成しました。

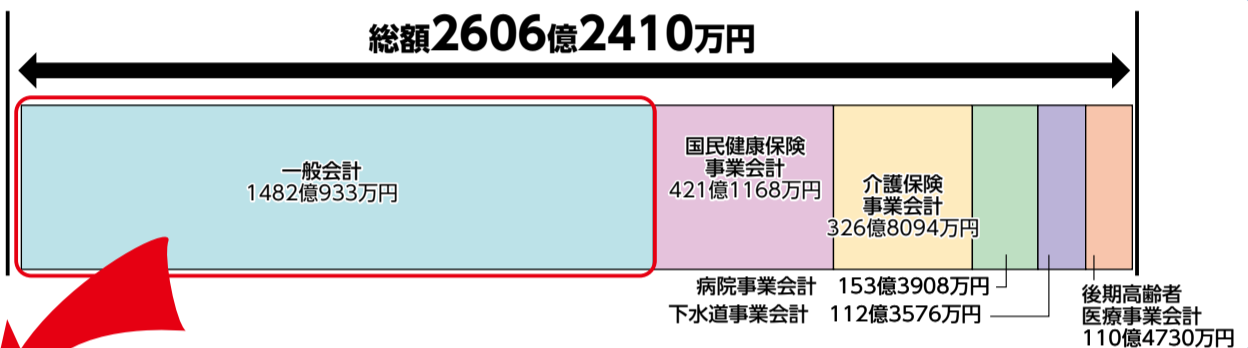
また、「町田市5ヵ年計画17-21」の2年目として、目標達成に向けた取り組みを着実に推進します。主な事業と予算額は、4・5面で紹介します。

4つの「まちづくり基本目標」

- I 将来を担う人が育つまちをつくる
- II 安心して生活できるまちをつくる
- III 賑わいのあるまちをつくる
- IV 暮らしやすいまちをつくる

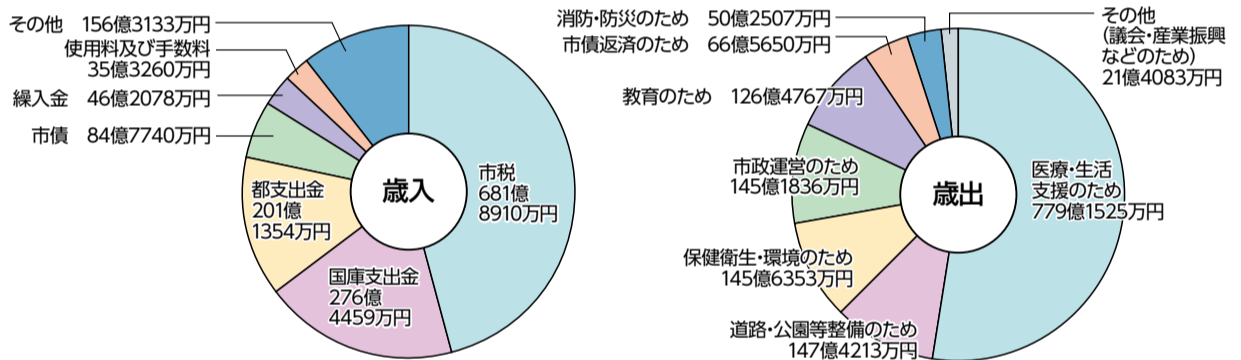
2018年度年間総合予算

市の行政サービスの大部分を経理する一般会計のほかに、特定の目的を持った事業の収支を切り分けて経理する特別会計が5つあります。一般会計の当初予算と6月補正予算を合わせた年間総合予算額は1482億933万円となり、対前年度比較で1.4%の増加となりました。また、一般会計と特別会計を合わせた年間総合予算は2606億2410万円となりました。



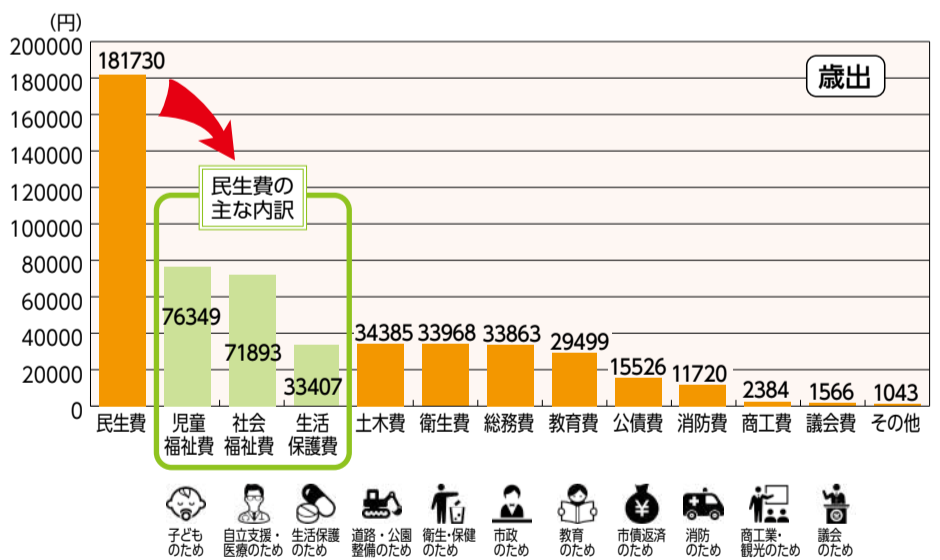
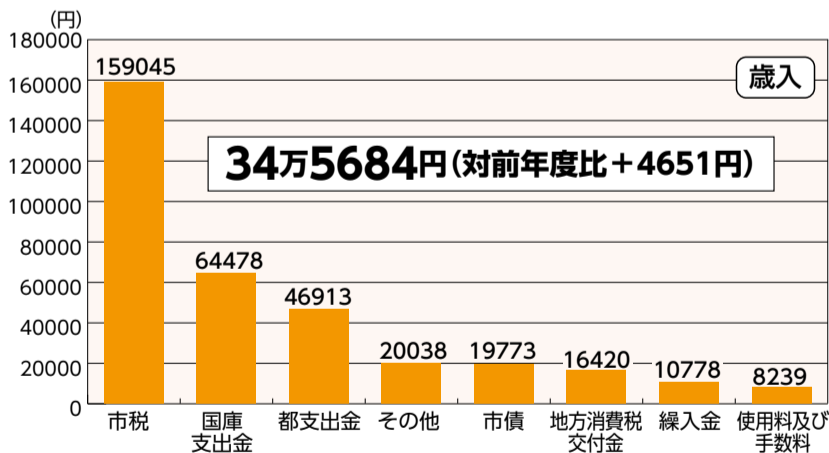
一般会計の歳入歳出予算

歳入では、46%が「市税」で構成されており、約半分を占めています。また、「国庫支出金」と「都支出金」で32.3%を占めています。歳出では、52.6%が「医療・生活支援」で構成されており、半分以上を占めています。また、「道路等の整備」や「保健衛生」、「市政運営」でそれぞれ約10%を占めています。



市民一人あたりでみた予算額(一般会計)

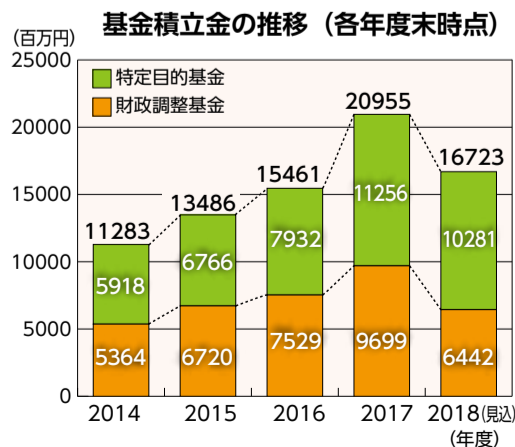
2018年度一般会計予算額を、2018年1月1日現在の町田市の人口(42万8742人)で割って算出しました。



まちだの台所事情 - 貯金(基金積立金)と借金(市債)はどれくらいあるの?

貯金(基金積立金)の状況

基金積立金は、家計にたとえると貯金にあたるものです。「財政調整基金」は、臨時の支出などで収入(歳入)が足りない時に取り崩し、逆にお金があった時には、貯金(積立)して年度間の財源を調整しています。「特定目的基金」は、あらかじめ使い道を決めて積み立てや取り崩しをする基金で、公共施設整備等基金が主なものとなります。



借金(市債)の状況

市債は、家計にたとえるとローンにあたるものです。公共施設などをつくるために必要となる多額の資金を「長期ローン」として借り、将来利用する市民との費用負担を公平にしています。ただし、借金であることにはかわりはないので、借り入れには十分気をつけています。

